

教育研究業績書

所 属	職 名	氏 名	学 位		
現代文化学部文化コミュニケーション学科	教授	畠山 真一	博士(学術)		
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要		
(1) 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) 地域ボランティアへの関わりを組み込んだ授業実践 くずし字アプリKULAを利用した授業		平成24年度から 平成28年度から	外国ルーツの地域住民への日本語指導ボランティアを授業内に組み込んでいる。 くずし字リテラシー向上のため、iPhone、Androidアプリを利用している。		
(2) 作成した教科書・教材・参考書 卒業論文演習をのぞくすべての授業で、自作のスライド・資料を使用して授業を運営している。		平成19年度から	PPT資料などの作成。		
(3) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
(4) その他教育活動上特記すべき事項					
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					
(論文)					
万葉集におけるツツの用法について	単	2020年3月	尚綱語文, 9	畠山真一(1)	6-13
上代におけるアリの接頭辞的用法について		2019年3月	尚綱語文, 8	畠山真一(1)	6-13
萌えアニメ作品における「声」とは何か		2019年7月	尚綱大学研究紀要, 51	畠山真一(1)	15-29

アニメーション作品におけるリアリティ水準と「不気味の谷」		2018年7月	尚綱大学研究紀要, 50	畠山真一(1)	15-30
日本型アニメーションにおける「キャラクター」と「声」：覚書として		2018年3月	尚綱語文, 7	畠山真一(1)	17-24
日本語の存在動詞イールの成立とシテイル形式の文法化	単	2017年3月	尚綱大学研究紀要, 49	畠山真一(1)	29-42
上代語の存在型アスペクト「リ」について：覚書として	単	2017年3月	尚綱語文, 6	畠山真一(1)	15-22
シヨル形式の文法化について	単	2016年6月	KLS, 36	畠山真一(1)	109-119
アニメーション化する映画/映画化するアニメーション-すべてが制御された世界で-	単	2016年3月	尚綱大学研究紀要, 48	畠山真一(1)	101-111
実写映画とアニメーション作品：初期アメリカ・アニメーション作品における実写とアニメーションの合成	単	2016年3月	尚綱語文, 5	畠山真一(1)	15-22
アメリカにおける商業アニメーション映画というジャンルの生成	単	2015年3月	尚綱語文, 4	畠山真一(1)	20-28
(その他)					
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					